

きつつき相談室だより

霜降（そうこう）号

こんにちは。やっと涼しくなりました。寒暖差で体調を崩したりしていませんか？合唱コンの季節ですね。校内のあちらこちらで皆さんの声が響いています。中学校の合唱コン、私は好きです。初めはクラスがバラバラな感じで、どうなるんだろうと困惑することもあるけれど、本番に向けて少しずつまとまって素晴らしい一つの歌声になっていき、3年生の自由曲の「信じる」のように見事に信頼感に満ちて実を結びますね。そんな心境の変化を皆さん全員が実感できるといいなと思っています。

なのですが、今回は「簡単に信じてはいけないよ」というお話です。

だしいりたまご…ん？°°°

ぷち心理学

小学校の頃から「お・か・し・も」「い・か・の・お・す・し」とか覚えましたがね。現代は、発信する情報の是非を判断したり、信頼性を慎重に見極めるための経験や知識（インターネットリテラシー）が求められます。それが「だ・し・い・り・た・ま・ご」です。覚えているといいかもしれません。

- * 「だ」…誰が言っている？⇒専門家とか、その道のプロなど信頼性の高い人からかどうか確かめる。
- * 「し」…出典はある？⇒根拠はなんでしょう。個人的な気分や想像、どこからの伝聞ではないかどうかを判断する。
- * 「い」…いつ発信された？⇒時が経つと新しい事実が判明して、過去の情報が間違っていたことも分かります。
- * 「り」…リプライ欄（返信欄）にどんな意見？⇒反対意見があるかも。
- * 「た」…たたき（攻撃）目的ではない？⇒誰かをやっつけたいとか、攻撃することが目的で広めていないでしょうか。
- * 「ま」…まずはいったん保留しよう。⇒少し時間を置くと、別の情報が出てくることがあるし、冷静に考えてみることもできます。
- * 「ご」…公的情報を確認した？⇒「ご」じゃなくて「こ」ですけど、最終責任がある所から発信されていますか？

【NHK2020, 5, 5 「フェイク・バスターズ」より】

コロナ禍以来、広まっている考え方で、今も、多分これからも通用します。だまされたり、振り回されないように気をつけましょうね。

(SC 古川)